

## 指定管理業務評価表

施設名	西部児童館		
対象年度	30年度	評価担当部	こども未来部
指定管理者名	小学館集英社プロダクション・ダイケングループ		
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日		
職員体制	常勤職員：5人	非常勤職員：4人	合計：9人

### 1. 利用実績

#### (1) 利用者数

月	4	5	6	7	8	9	
人数	3,581	3,724	4,757	5,885	6,454	4,370	
月	10	11	12	1	2	3	合計
人数	4,687	4,705	3,741	4,316	4,622	6,038	56,880

#### (2) 増減要因

過去5年間で最多の利用者数となった。特に今年度は、乳幼児親子向けの企画を多く提供し、取組みの成果が出た。

### 2. 利用者アンケートの結果

実施期間	(共通)平成30年10月22日～11月21日 平成30年6月(コミュニティと合同) 平成30年11月(コミュニティと合同)	回答数	172人 275人 196人 計643人
利用者の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さい子の遊ぶスペースが広がって、遊びやすくなった。</li> <li>・季節の飾りつけがとてもかわいい。</li> <li>・昔は無かった乳幼児に対するサービスが増えてよかった。</li> <li>・家でも手に入る物で、工作を教えてもらえるのありがたい。工作が大好きなので、色々なものが作れるのが嬉しい。</li> <li>・年少組対象のクラブを設けて欲しい。</li> </ul>		
具体的な対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0ヶ月～ハイハイ期までが対象のひよこ広場と、1歳前後に参加できるちびっこ広場の間に、新たに「らっこ広場」を設けた。</li> </ul>		

## 3. 収支の実績

(単位：円)

		29年度 (前年度決算額)	30年度 (現年度決算額)	元年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収入	指定管理料	24,800,000	26,900,000	27,946,568	年間委託料
	返還金		-1,133,329		
	合計	24,800,000	25,766,671	27,946,568	
支出	人件費	20,122,134	20,126,094	22,000,147	職員給与
	報償費	69,000	109,500	123,853	講師謝礼
	旅費	58,871	50,813	134,752	交通費・研修参加費
	需用費	188,136	209,860	248,202	児童館活動費等
	役務費	457,389	461,904	475,986	保険料等
	委託費	0	0	0	ピアノ調律等
	その他	3,189,200	4,808,500	4,963,628	間接費・負担金等
	合計	24,084,730	25,766,671	27,946,568	
差し引き収支		715,270	0	0	

#### 4. 評価

項目	市の評価
運営業務	<p>仕様書、事業計画書に基づき概ね適正に実施されている。日常の来館者への対応や行事・イベントも適切に実施されている。</p> <p>また、コミュニティセンターとの複合施設として、地域運営協議会を中心に地域の方と共に運営をしており、幅広い世代に利用されている。</p>
維持管理業務	<p>敷地内及び館内の日常清掃・定期清掃が適正に実施されている。日常の安全点検と併せて玩具の破損等がないかの確認、消毒、洗浄を行っており、適正な維持管理として評価できる。</p>
自主事業	<p>コミュニティセンターの畑を利用した西部児童館ならではのじゃがいも掘りやさつまいも掘りが人気で、恒例となっている。</p> <p>乳幼児向けのイベントとして、新しく「支援祭り」を開催し、手作りのボウリングゲームや、手形や足形を使った飾りの作成、エアートランポリンなどを行った。好評であったため今後も継続して行っていく。</p>
サービスの質	<p>外部研修や臨時休館日を利用した社内研修に参加し、職員の意識や技術の向上に努めている。</p> <p>新しいイベントや講座を、来館者の意見を積極的に取り入れて企画している。</p>
収支状況 及び 経費節減	<p>資金管理については、概ね計画どおりの収支状況となっていた。照明等こまめに消灯するなど、経費節減に努めた。</p>
その他 (緊急時の対応等)	<p>コミュニティセンターと合同で臨時休館日に避難訓練を行っている。また、社内の監査委員を児童館へ派遣して館内の安全監査を行っている。</p>